

事務事業マネージメントシート

作成日 令和2年04月18日

事務事業名	二宮地区女性学級事業				担当	教育委員会 生涯学習課 真岡市公民館二宮分館									
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名									
施策名	1	生涯学習の推進				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠	社会教育法第5条						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成21年度~)								
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	1社会教育総務		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)									
事業概要	地域女性の学習と教養を深め、仲間づくりと生きがいづくりを進めるために開設した。内容は教養を高める学習、料理実技、健康づくり、研修視察等である。 二宮地区的女性を対象として、年に10回程度実施する。定数は50名。														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移																																															
31年度実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 開催回数</td> <td>回</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>イ: 募集人数</td> <td>人</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ウ: 参加申込数</td> <td>人</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>57</td> <td>53</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア: 開催回数	回	11	11	11	10	11	イ: 募集人数	人	50	50	50	50	50	ウ: 参加申込数	人	62	59	57	53	50	エ:							オ:						
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																										
ア: 開催回数	回	11	11	11	10	11																																										
イ: 募集人数	人	50	50	50	50	50																																										
ウ: 参加申込数	人	62	59	57	53	50																																										
エ:																																																
オ:																																																
開講式・学習計画協議(5月)、苔玉作り(6月)、季節の料理(7月)、絵手紙(8月)、工場見学(成田食品・9月)、視察研修(迎賓館・10月)、エコクラフト(11月)、ピザ作り(12月)、合同研修(オカリナの講話と演奏・1月)、花巻きすし(中止・2月)、多肉植物寄せ植え・開講式(3月)延べ参加者数: 181人																																																
2年度計画																																																
令和元年度と同様に学級生と学習内容を協議、決定して進める。																																																
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移																																															
二宮地区的成人女性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 二宮地区的成人女性の数</td> <td>人</td> <td>6,445</td> <td>6,486</td> <td>6,391</td> <td>6,349</td> <td>6,406</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア: 二宮地区的成人女性の数	人	6,445	6,486	6,391	6,349	6,406	イ:							ウ:							エ:							オ:											
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																										
ア: 二宮地区的成人女性の数	人	6,445	6,486	6,391	6,349	6,406																																										
イ:																																																
ウ:																																																
エ:																																																
オ:																																																
女性の生きがいづくりと教養文化の向上を図る。																																																
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移																																															
女性の生きがいづくりと教養文化の向上を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 学級生数/募集人数</td> <td>%</td> <td>124</td> <td>118</td> <td>114</td> <td>106</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア: 学級生数/募集人数	%	124	118	114	106	100	イ:							ウ:							エ:							オ:											
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																										
ア: 学級生数/募集人数	%	124	118	114	106	100																																										
イ:																																																
ウ:																																																
エ:																																																
オ:																																																
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移																																															
学級に参加することにより、仲間づくりと生きがいづくりを進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(実績)</th> <th>2年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア: 学習テーマを持ち日頃学習に取り組んでいる市民の割合</td> <td>%</td> <td>29.1</td> <td>27.4</td> <td>29.0</td> <td>29.1</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>イ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	ア: 学習テーマを持ち日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%	29.1	27.4	29.0	29.1	30.0	イ:							ウ:							エ:							オ:											
名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)																																										
ア: 学習テーマを持ち日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%	29.1	27.4	29.0	29.1	30.0																																										
イ:																																																
ウ:																																																
エ:																																																
オ:																																																

(2) 総事業費の推移	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	42	73	26
事業費計(A)		千円	42	73	26	48
人 件 費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	100	110	110	110
	人件費計(B)	千円	415	457	459	445
トータルコスト(A)+(B)		千円	457	530	485	493

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	合併により二宮地区的女性の知識・教養向上と社会参加、仲間づくりと生きがいづくりの推進を図るために開始された。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生涯学習の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生涯学習の場の提供は、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 二宮地区の女性が対象である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 学級生が年間計画をたて、活動して成果をあげている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 生きがいづくりと仲間づくりの低下を招き、地域の連帯意識の向上が困難になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 講師謝金と事務費だけなので、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 学級開催のための講師打合わせ等、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 講師謝金は市の負担だが、教材費等は自己負担で実施している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		